

刊夕日十二月二十



定価一冊五錢... 発行所 常磐毎日新聞株式会社

陣中想出話

(天)

平町出身 歩兵第九聯隊 水野重光 第三中隊 或る日の偵察 (3)

「撃テッ」部下に命じて射撃せしめたが僅か小銃二では敵すべきもない、地形の不利なるを察して左の高い山を占領して對抗すれば負けはしないと考へ後退した。折からの降雨で地面は軟い逃げ様としたが俺は不覺にもスベつて拳銃の先を土に突き刺して撃てぬ、バツ！

潮朝第五十集記念句集

(1)

潮朝の祝ひ餅の五十石 京都 佐藤素秋
五戸の里十戸の村や柿の秋 東京 天野雨山
五千石すて紙衣の安さ哉 岡本機柳
菊ならさる菊のし後五に香を送れ秋田 八島蘭外
春秋の幸多かれよ五十雀 美濃 山田華溪

支那人二名は何時の間にか姿も見えぬ、ポケットから手帳を取り出し最後を認め皆んな一緒に死んで行かうと誓つた、敵も吾々の姿を見失つてサグリ射た、ポン

ノット

伊達巻をゆるませる法は襦袢の後のつけ紐を下にさげておいて巻きその上をつけ紐で結んでおくと伊達巻も緩まないし衣紋もよく抜けます

二明日の献立二

【朝】みそ汁ーねぎ
【晝】茶わんむしーえびー
ほうぼうーふくわるー

【晩】にしめーかんびよう
がんどきーさつま芋

しつゝ大豆畑の中を辛うじて山の頂上まで来た、然し近附の民家は全部匪賊に内通して居るらしい、危険だ

んだ、オーイ威極まつて聲も出ぬ、哨舎では慈愛深い中隊長殿がビューーといふ寒風の中に立つて外套も

中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

Advertisement for '魚問屋' (Ishimono) featuring a fish logo and text: 産名城磐 魚問屋 店代理平命生本日大最優最 榮盛賀志 番三一電目丁四平

日本一低廉保險

愛國生命保險株式會社 有給社員募集 履歷書持參本人來談あれ!

平代理店 松崎長三郎 平町新川町

平新川町十九

木村病院

産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 内木宗八
器泌尿科

旭硝子株式會社製品 板ガラス 赤菱印 硝子 壺 硝子 食器 其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

外科 X 光線科 性病科 科 科 意隨院入

安齊外科醫院

平町田町 電話四七五番

Advertisement for 'かまぼこ' (kamaboko) featuring a fish logo and text: 三河産業博覽會 昭和三十二年博覽會 金牌受賞 儀用式 製造 平町一丁目

高級貸切... 不二タシクー 電話・32

自動車業協定破れ

客と品との奪ひ合

此儘では事故頻発の惶れ

嚴重な制裁規定の改革案

自動車協會石城支部では從來管内自動車の料金を統一協定して營業者間の激甚な競争を緩和する一方頻發する交通事故の防止に努めて来たが、最近營業者中には此の

協定料金を引下げ貨物や乗客の奪取を企てるものがあり殊に歳晚の昨今此種破約營業者が激増隨所に物凄く乗客貨物の奪取戰が展開されてゐるが、營業者間の競争が激化すれば自然交通事故が頻發する事になるので所轄平野署並自動車協會では近く

警備委員を設置

消防費用の監査執行

町會に提案

平町より平消防組に支給されて居た警備費は年々膨大する處から同會計の監査執行の機關として町議側から四名、消防側から三名計七名の警備委員を設置し町との間に介在して消防の確立を斯せしめ度いと議が起り来る本年俸尾の町會に提案附議される善であるが多

素亂状態から見て平野署でも積極的に支援するものと豫想されるから同協會の全般的料金協定は漸次具体化せんとするも唱へられて居り、現在の

全營業者に對し警告を發し協定料金を遵守せしむる事になつた現在の協定料金は主に定期線市内貸切賃金等の概括的協定で營業

者協定を破るに都合よく出來て居る關係上、協會幹部中には此の協定を全般的なものとし嚴重な制裁規定を設けんとする強硬改革案も唱へられて居り、現在の

年懸案だけに異議なく可決されるものと見られてゐる

石城郡飯野村にては十七日午前九時村會を開き左記議案を附議した

飯野校舍増築附議

を展開しやうと計劃既に兩館とも一切の準備を了してゐるが其の陣容は「本館」は巨費を投じてニッポン發聲映寫器二臺を購入して元日から新春興は全發聲映寫、メトロ社日本版世界水泳界の王者ワイズ、ミユラ主演の「類猿人」ターザンの巨擘、第二週目は日活サウンド版「聲南部章三主演のオリンピック映畫」勝

久しい沈黙を破り

一大映畫戰に勇躍

◆平館世界館と共に

◆迎春準備怠りなく

昨今の常設活動館は明らかなボーナス景氣に酔ふ人達で連夜殆んど満員の盛況、例年の歳晚には全く見られ

なかつた状態を呈して居るが是れに力を得た平館、世界館とも新春勢頭久しい間の沈黙を破つて一大映畫戰

を展開しやうと計劃既に兩館とも一切の準備を了してゐるが其の陣容は「本館」は巨費を投じてニッポン發聲映寫器二臺を購入して元日から新春興は全發聲映寫、メトロ社日本版世界水泳界の王者ワイズ、ミユラ主演の「類猿人」ターザンの巨擘、第二週目は日活サウンド版「聲南部章三主演のオリンピック映畫」勝

つて歸れよ」メトロ社日本版名女優グレタ、ガルボ主演「間諜マタハリ」と言ふ絢爛さ、此れに對し「世界館」は新興キネマ高津慶子、中野英治主演「金色夜叉」に配するに嵐寛壽郎主演「右門捕物帳の中三十番手柄」第二週は阪妻の「かまきりいたち」等々を第一線に据えて劣らず陣容を整へて居る

- 一、寄附金採納の件
- 一、昭和七年度歳入出追加更正豫算額決の件
- 一、村營土木工事執行に關する件
- 一、小學校基本金一時流用支出に關する件
- 一、記念碑建立に關する件

- 一、小學校舎増築工事に關する件
- 第二職員酬金 平第二小學校職員酬金會にては本日本年度の決算を行つたが會員積立金千九百五十圓に達して居ると

門標を掲げてと

平局からの注文

平郵便局では歳末に際して殺倒する郵便物整理の爲め臨時増員をなし配達其他に當つて萬全を期して居るが局で一番迷惑を感じるものは市内居住者中多數門標の掲出をしない向がある事で電報、年賀状等の配達に困難を來たし自然遅延又は配達不能に歸する場合が多いので此際門標掲出のない家は早速掲出して相互の利便を圖られ度いと局の希望である

平窪、好問農産品評

既報石城郡平窪、好問村農會主催の農産品評會は昨十九日審査會を開き左記の如く入賞者を決定した

- △野菜(一等)鈴木重次郎
- △桃(一等)矢吹初彌(二等)薄葉竹治 外三名
- (三等)林保 外五名(四等)鈴木庄之助 外九

事務の聯絡徹底に

區長會議を開く

平町役場では現在の廿七區長との事務聯絡を徹底せしめる爲め廿一日午後一時より町役場會議室に於いて區長會議を開く事になつた

磐中視察出張

中學校橋本教諭は相馬、双葉兩中學校へ英語及び柔道教授視察に、根本教師は福中へ音楽教授視察に本日各出張した

平町人事

回出生

△町目三八 當時石城郡内郷村字川平六七白土喜

重氏長男

回婚

△内郷村川平六七渡邊政樹氏(二五)研町九高木政代(二五)

回死

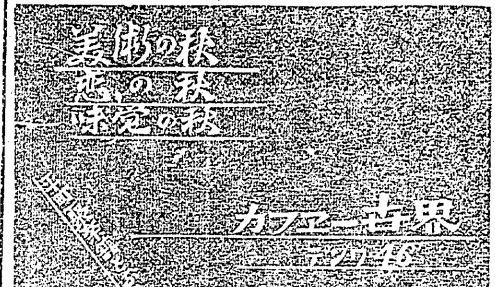
△胡摩澤一二五 中島九留(二八)
△白銀町一當時東京市荏原區中延七一馬目一也(三三)

市原醫院

平町 電話一四番

目丁二町平
三井タクシ
番五八六話電

の物刷印
て總は命用御
會社式刷印日每警常
番〇三六話電



戀に破れた鮮人が

可愛さ餘つて暴行

嫁入りの前夜に暴れ込む

親娘が平署に救ひを願出

一味檢舉さる

平町白銀町居住玩具商鮮人曹蒸謙(一)は隣家の焼芋行商鮮人李水滿(二)の世話で去月初旬同所に小売を開いたが曹の長女明香(三)に

懸想した李は既に許婚者のある明香を屢々口説くも柳に風と何時もアツカリ片付けられるので今度は父の曹に家を世話した恩義を笠に嫁を呉れと強要する

ため曹は間違のない中にと娘を仙臺に居住する

許婚者 嫁がせる事となり今朝午前二時五十分平驛發下り準備で父娘二人

が立出する事になつたが此れを知つた李は極度に激昂し仲間の行商鮮人田村倉作事李順通(一)吉本一郎事自猶剛(二)と共に昨夜十一時頃曹方に押しかけ可愛さ餘つて憎さ百倍とばかり明香父子を袋叩きにした上どうしても明香を嫁に呉れなければ殺して仕舞ふと暴れ廻るので命からかき逃げ出した父子二人は平署に駆け込み保護方を願出た尙李者三名の暴漢は直ちに平署に檢舉傷害罪で嚴重な取調を受けてゐる

坂本教授の...

歸郷を機會に

満洲問題座談會

東亞同文書院教授中第一回出身坂本義孝氏は久し振りで歸郷したので平青年團其他が主催となり本日午後六時半からマルトモ樓上に満洲問題を中心とした座談會を開くと

警中で...

模擬試験

磐城中学校にては上級學校受験生四十六名に對し國語漢文、數學、英語の模擬試験

驗を來る二十六、二十八、三十及び一月六日の四日間に分けて執行すると

商友會新年宴

平商業學校商友會にては例年の通り來る一月八日午後六時

より二町目谷口樓に於て新年宴會を開催すると

行商を装ひ

空巢を窺ふ鮮人

平町月見町一七雜貨商關井シネ方で昨十九日午後一時頃家人の不在中賣溜金四圓餘入り財布を窃取逃走せんとするのを近所の者が發見を働き餘罪數件あると

平第二校の欠食兒

救済費頗る輕減

平第二小學校にては去月一日以來欠食兒三名に對し給食してゐるが、本日迄の給食日數は四十八日間、延人員百四十名となり縣より

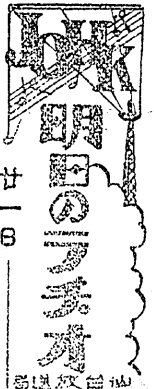
進行中の貨車を

目掛け飛込自殺

病氣を苦しめた青年

昨十九日午後三時頃石城郡内郷村大字高坂八文田地内古河炭礦專用線で進行中の貨車を目掛けて飛込自殺せ

る者あつたので平署で檢視すると右は石城郡築輪村字高野農高萩佐藏(三)で病氣を苦にして厭世自殺を遂げ



今晩の部
後六、〇〇(子供の時間)
お伽漫談「年の暮」山野一郎
後七、三〇 講演
後八、〇〇 放送舞臺劇

十好會の俳座 石城郡好間村十好會では來る廿二日午後六時より同村宇山下鈴木秀山方で句會を催す

平裁判たより

既報秋田縣平辰郡睦合村大字谷地新田字沼田八十番地生れ目下住居不定前科八犯佐藤惣吉(三)が窃取逃走途中巡查を金槌で殴打し重傷を負はせた事件の公判は昨日午後一時半より平支部に於て中島裁判長係り關口竹内兩判事陪席、小林檢察立會、宮選、大嶺辯護士列席の上開廷檢察より懲役七年求刑あり大嶺辯護士の減刑論あつて四時閉廷したが言渡しは來る二十六日午前九時である

平職案紹介所報告

- △女中 十八才 尋卒 月
- △四圍位(平町某)
- △子守 十七才 尋卒 月
- △三圍位(平町某)
- △書生 十八才 高卒 給
- △料面談(平町某辯護士)
- △コック 十八才 尋卒
- △給料面談(平町某)
- △回 職を求める方
- △事務員 二十才 佐賢卒
- △給料面談(赤井村某)
- △女中 四十二才 無學
- △給料面談(平町某)
- △測量手 二十一才 早稻
- △田工手卒 給料面談(内郷村某)
- △事務員 三十才 高卒
- △給料面談(平町某)
- △炊事夫 六十五才 高卒
- △給料面談(平町某)

後九、四〇 全國ニース氣象通報 番組豫告
明日の部
前九、一〇 料理献立「クリスマス折衷献立」小野玉枝
前一〇、三〇 家庭講座
後一〇、五〇 「吹奏樂と軍歌」陸軍戸山學校軍樂隊
後二、〇〇 家庭大學講座「青年の心理」東京帝大助教授「青木誠四郎

後五、〇〇 受験講座「英文和譯」佐川春水
後六、〇〇(子供の時間)
お話「ネオン管」河野元彦
後七、三〇 講演「多門師團の凱旋を」宮城縣知事三邊長治
後八、〇〇 謡曲(阿漕寶生會能樂堂より中繼)松本長外
後八、五〇 連續講談「羽子板娘」(第三席)大島伯鶴

宗正らひた

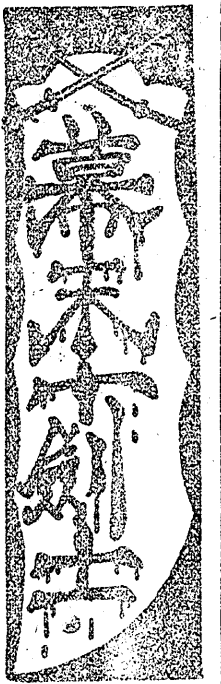
山崎合名會社 電話一〇番

看護婦急派の求めに應じます

平看護婦會

平町南町 電話三〇七番

美味! 芳醇!



【禁煙上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

第二百廿九席

平 手 造 酒

大膽に芝居見物

勢力富五郎は眞の善兵衛
と以前子分であつた村田屋
吉五郎に向つて

勢『今云つた様な次第で婢
に安心をさせてやりてえと
は思つて居てもさせてやる
事が出来ねえ、それを恨み
もせず俺の爲によく盡して
くれる、まだ年も若し一生
後家で置くも感然、と云つ
てやくざ者の癖にしたくね
え、お主ならばお力も一代
安樂、俺の此事は遺言だ、
どうぞ女房にしてやつてく
れ』

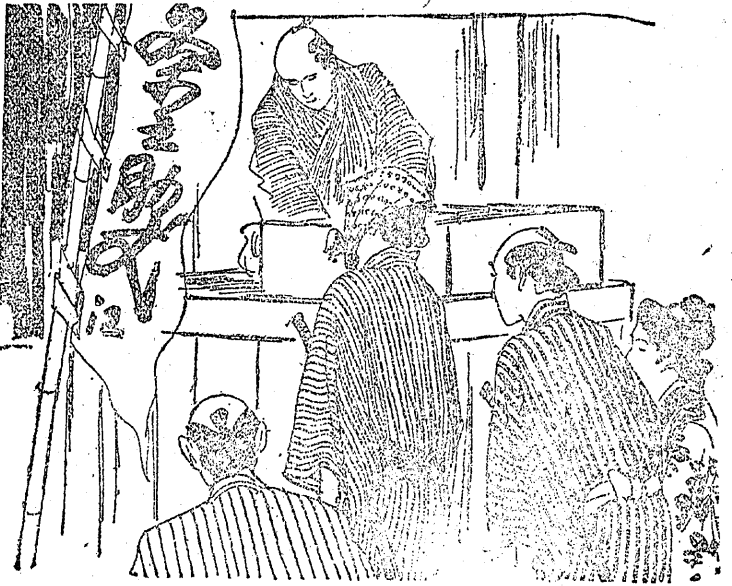
村『そいつは困りましたね
わつちが承知をした處で姐
御は何と云ふか、子分の婢
になるは洵に残念だと斯う
思はれてはこの縁談は出来
ません』

勢『イヤお力にはこの阿父
さんから話して貰ふ、若し阿
父さん何うぞあなたからお
力に話しておくんさい』

善『ウム承知した、それが
見立てた此の吉五郎だ、定
めしお力を可愛がるであら
うどうぞ頼みます、私はな
勢力を隠まつた罪で次第に
依れば家財はお上に取上げ
られ所拂ひになるだらう、こ
さうなるとお力を引い

とも出来ねえ、どうぞ勢力
の頼みを聞いてお力を女房
にして下せえ』

村『判りました、姐御さへ
不承知でなくば此の事は引
受けます』



勢『ア、之で思ひ遣す事は
ねえ、どうぞ阿父さんお前
さんから宜しくお力に云つ
て聞かして下さい』

善『承知した、さあ酒で
も飲めよ』

とこれから酒を持つて來
た、その時にそれへ出て來
たは勢力の子分鍋本榮助

榮『兄貴暫くお目にかゝり
ません』
村『オ、榮助は親分と一
緒か、好い若い者になつた
なア』
榮『エ、親分や兄貴のお世
話でやうやく腕すねを伸ば
して頂きました、兄貴は何
時も御繁昌で……』

とそこで善兵衛が持つて
來た酒を飲みながら助五郎
を討つ段取りから四方山の
話を時を過ぎしたが其中に
村吉が
村『それぢや親分大切に』
富『オ、其れぢや今夜の話
は頼んだよ』

氣分も變つていゝかも知れ
ねえ』

榮『さうだ、世間の様子も
知りてえからそれぢや親分
一寸行つて参ります』
と村吉と共に出て行つた
が其翌日の朝早くに歸つて
來た
榮『親分今歸りました』
富『オ、大分早いな』

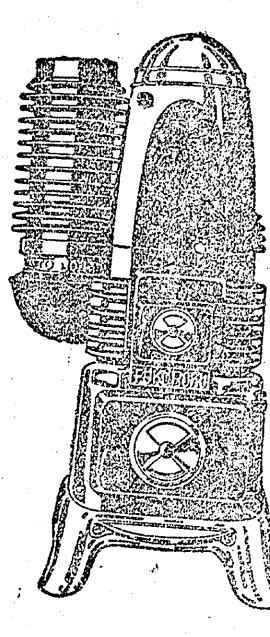
榮『エ、行つては見たが何
だか親分を一人残して居る
と氣になつて仕様がねえ、
一日居て來ようかと思つた
が夜の明けねえ中に歸つて
來た』
富『オ、左様か』

勢『時に親分に話してえと
思つて來たことがある』
富『何んだ、何んなこと
だ』
榮『親分は芝居が好きだが
櫻井の町へ今度上州の小櫻
組が來て忠臣蔵を出して大
層客が來るさうでございま
す』
富『ウンさうか、小櫻組は
旅役者の腕利きが揃つてゐ
る、此の世の別れに芝居を
見るか』
勢『見るかと云つて出懸て
は危ねえ』
富『そんなこともなからう
お尋ね者の勢力が芝居を見
に來ようとは思ふめえ』
勢『それも尤も、デハ出掛
けますか』
大膽者として日の暮に此處
を密に出て遠く離れた櫻
井の町に出た、小見川の興
行師唐人鐵といふ者が太夫
元になつて興行してゐる。
尾上多見三郎 市川文庫
中村三五郎 岩井彗之助

嵐離昇等といふ旅廻りの侍
優、然し藝は出來て居ます
出し物は忠臣蔵、これを出
せば何時も大入り、芝居道
では獨參湯といふ或人が忠
臣蔵は芝居の葛根湯だと云
つたさうですが葛根湯は無
いさうで、勢力は榮助を伴
れて表木戸に來た、これに
ゐたは鐵の子分
○『ヘエ入らつしやいまし
お二人さん廻るよ』
札を中木戸の者に渡す。
勢力は頼冠りをして顔を隠
してゐたが札場の者がヒョ
イと覗いて
○『これは萬歳の親分でこ
ざんすか』
聲をかけた

物質 一 般
各 種 債 券 類
三井質店
平町四丁目
電話六〇六
川目六番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡 回文庫
電話六三〇番
中込込次第規則書進呈



嚴冬の征服者
福祿ストーブ
戸毎に福祿！四海は常春!!!

電話三七番へ
カタログ御申越下さい早速持參致します
福祿ストーブ福島縣一手販賣
阿部石炭商店
平停車場前

久山團扇店
山久團扇店
平町四丁目
電話四〇九番
菓菓子硝器子庫
一タスポ。一ダンレカ

江戸前料理
寄なべ はまなべ 烏なべ
ちりなべ かきなべ
▼出前！迅速！▲
錦水
電話四五四番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
和野田醫院
平南町 (電話一七〇番)